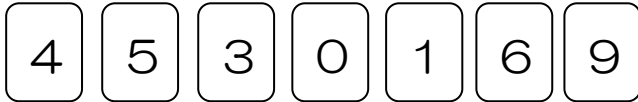


5 偶数と奇数

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

- 1 下の7まいのカードを使って、4けたの数をつくります。



1 0 3 4

- (1) 4けたの偶数でいちばん小さい数はいくつですか。

偶数になるには一の位が0か4か6になります。一の位が0の時にいちばん小さい数は1340で、4の時にいちばん小さい数は1034で、6の時にいちばん小さい数は1036です。だから、いちばん小さい偶数は1034です。

- (2) 4けたの偶数でいちばん大きい数はいくつですか。

9 6 5 4

偶数になるには一の位が0か4か6になります。一の位が0の時にいちばん大きい数は9650で、4の時にいちばん大きい数は9654で、6の時にいちばん大きい数は9546です。だから、いちばん大きい偶数は9654です。

- 2 17段の階段を右足から順に1段ずつのぼりはじめました。階段の15段目は、左右のどちらの足を出していますか。もとめ方も書きましょう。

<p>もとめ方 (例)</p> <p>1段目は右足, 2段目は左足・・・とのぼる。奇数段は, 右足, 偶数段は左足となる。15段目は奇数段なので, 右足になる。</p>
--

答え

右足

- 3 偶数と奇数をたすとその和は偶数, 奇数のどちらになりますか。具体的な例を3つ書いて考えましょう。

<p>偶数+奇数の例</p> <p>$2 + 1 = 3$, $6 + 9 = 15$, $18 + 13 = 31$</p>
--

答え

奇数

- 4 ちかこさんの学校の花壇には、黄色とピンクのチューリップがたくさん咲いています。黄色のチューリップはピンクのチューリップより23本多いそうです。ちかこさんの学校の花壇のチューリップの本数は偶数ですか, 奇数ですか。もとめ方も書きましょう。

答え

奇数

<p>もとめ方 (例)</p> <p>ピンクのチューリップが偶数の場合: 黄色のチューリップの数は「ピンクのチューリップの数+23」なので「偶数+23」=奇数となる。</p> <p>ピンクと黄色を合わせると全体は, 偶数+奇数=奇数となる。</p> <p>ピンクのチューリップが奇数の場合: 黄色のチューリップの数は「ピンクのチューリップの数+23」なので「奇数+23」=偶数となる。</p> <p>ピンクと黄色を合わせると全体は, 奇数+偶数=奇数となる。</p> <p>だからピンクのチューリップが偶数でも奇数でも全体の数は奇数になる。</p>
--